

「コウノトリ」を教材とする 西小学校の取組

H29.12.26
雲南市立西小学校
校長 和田 邦子

1 ねらい

主体的に課題を見つけ、
さまざまな他者と協働しながら、
定まった答えのないものにも粘りづよく向かっていく力
～島根県の学力観～

- 教育目標 ふるさとを愛し、お互いに認め合う心豊かでたくましい子どもの育成
- 重点7項目①ふるさとを愛する心や自立心を育む。
 - ③一人一人がめあてや課題をもち、主体的に学習に取り組む。
 - ⑤疑問に感じたり、興味関心をもったりした事象への探求心・追求心を培う。

○校区に営巣した国の特別天然記念物「コウノトリ」を先生として教育活動に取り入れることは、

- ・生き物への愛着、生命の神秘や自然のすばらしさ、生態系、人と生き物とのかかわりや共存、人々の営みや努力、環境づくり、まちづくり、ふるさと愛・・・様々な視点で学年に応じて課題化することができる。
- ・コウノトリの特殊性や魅力から、児童が好奇心や愛着心をもって追求し、自分なりに考えを深めていくことができる。
- ・西小のオリジナルとして地域と共に連携して推進していくことができる。
- ・将来の地域人材の育成ができる。

2 取組の概要

「げんきくんとひな達応援プロジェクト」(H29.5月スタート)

H29.3月 JO118「げんきくん」とJO047(西小愛称 七ちゃん)カップル営巣
職員へ伝達 (資料1)

H29.4月 産卵確認

職員へ伝達 (資料2)

プロジェクトチーム(管理職・総合的な学習担当者・教務主任)発足
4年生の総合単元と全校での見守り活動を行うことになる。

H29.5月 全校児童対象愛鳥教育 (資料3)

講師 三瓶自然館サヒメル 学芸課企画幹

星野由美子 氏

「西小のまわりにいる野鳥たち～コウノトリを中心に～」

H29.5月19日 母鳥JO047 誤射による死亡

児童へ伝達 (資料4)



「げんきくんとひな達応援プロジェクト」 立ち上げ (資料5)

☆本校教材開発アドバイザー 三瓶自然館サヒメル 学芸課企画幹

星野由美子 氏

◎教育課程への位置付け

・4年生 総合単元 (資料6)

単元名 コウノトリがやって来た西小周辺 (春殖・幡屋) の自然環境
について考えよう

～ 西小4年生のオリジナル Ver. ～

- 1 ○ コウノトリってどんな鳥？
生態、歴史、食べ物、特徴、生息地・・・
○ 実寸大のパネルでコウノトリの大きさを実感してみよう。
- 2 ○ 「げんきくん」は西小校区の何が気に入って、住んだり、巣作りしたりしたのかな？
エサ、環境、人、自然、地形・・・
○ 調査隊出動！！～ちょっとでかけて調べてみよう～
田んぼでの取材、コウノトリのえさ調査 (いきもの調査)
- 3 ○ (集めた情報から) げんきくん (達?) がこれからも西小周辺 (春殖・幡屋) に住み、ひなを育てていくにはどうすればよいか考えてみよう
- 4 ○ 西小4年生が調べたこと、考えたことをまとめて (コウノトリとの共生等) 伝えよう。(発信) → 学習発表会

・ 6年生 総合単元 (資料7)

単元名 コウノトリが幸せになるために、自分たちがサポートできることを考えよう

- 1 ○ コウノトリについて調べよう
生態、歴史、食べ物、特徴、生息地・・・
- 2 ○ 見守りボードの活動をしよう
- 3 ○ コウノトリが西小巣塔にきて幸せになるために何ができるか考えよう。
自分達でできること
学校にお願いすること
地域にお願いすること
その他
- 4 まとめて (コウノトリとの共生等) 伝えよう。(発信)
全校へ・・・
地域へ・・・
学校へ・・・春の運動会 (5月) を秋に移動してほしい

◎全校活動 ～6年生が中心となり学校の内外へ呼びかける。～

- ★6年生の見守りボード (資料8) 5月～
・・・メール等での目撃情報入手の依頼→6年生がボードにまとめる。
- ★げんちゃん (西小児童命名) 追悼メッセージ (資料9) の発表 9月
- ★一人一校運動のよびかけと実施 (資料10・11) 12月～
- ★校区全戸へのチラシ配布 (資料12)、ポスター掲示 (資料13) 12月

◎教員から児童への働きかけ

- ★コウノトリ掲示板の設置 (資料14) 5月～
- ★担当者からの児童への情報提供 (資料15) 5月～
→6年のボードとは別に、げんきくんとひな達の情報や写真、関連資料を絶やさずに発信する。多くの方に協力をいただいているが、特に誤射直後のげんきくんのふるさと福井県コウノトリ共生課との連携はありがたかった。(福井県HPに本校の取組紹介)
- ★放鳥、巣塔設置に全校児童が参加 (資料16)
→いずれも事前指導を行い心情を高めていった。

◎その他

- ★春殖地区振興協議会・幡屋地区振興会・西小PTA・三瓶自然館サヒメル・ホシザキ野生生物研究所・兵庫県立コウノトリ郷公園・NPO法人湿地ネット・福井県・豊岡市等々関係団体及び関係者との連携、見守りボードへの各方面からの情報提供
- ★豊岡へ教員派遣 H29.6月 教頭 山本教諭 加納教諭 星野由美子企画幹
 - ・児童の質問をもっていく。
 - ・コウノトリ郷公園、豊岡市自然環境課、豊岡市立三江小 訪問（資料17）
- ★巣塔設置にかかわって学校として校区全戸への協力依頼文書配布（資料18）

◎番外編～エピソード紹介～

- ❖ 7月12日 放鳥 ……大きくなったひなたたちの迫力に感動！
- ❖ 8月30日 始業式の朝「校長先生、どうしてげんちゃんは死んだんですか？」
……鳥取県の許可を得て、始業式で事実を伝える。
- ❖ 9月1日 げんきくんが西小に応援にきた！？（資料19）
……西小児童大いに盛り上がる！！
……「うらくんが飛び立つときに落ちてきた羽毛を…ました！」
- ❖ 11月上旬 げんきくと姫ちゃんが帰って来た！
……西小児童拍手がおきる！


11.7 西小撮影 げんきくん



11.9 永見氏 撮影 姫ちゃん
- ❖ 11月28日 西小 世界で2番目の巣塔のある学校になる！
……「この学校マジすごい！」
- ❖ 12月13日 うらくん（久美浜にて）、姫ちゃん（雲南にて）、はじめての雪！
雪に耐えるげんきくんたち（雲南にて）！（資料20）
……がんばれ、がんばれ、がんばれ……
- ❖ 12月20日 6年児童 校長室に運動会移動のお願いにくる！！
……「コウノトリが、ここは子育てしやすいところだと
思っってストレスなくこの巣塔を選んでほしい。」


3 来年度に向けて

全学年での総合的な学習・生活科での単元化等 （資料21）

4 学校としてお願いしたいこと

学校（6年生）からのお願いのサポートを
生きもの調査ができるビオトープ（休耕田の水張）を
教材費の補助を！！！！

資料1

コウノトリの営巣について

H29, 3、校長

私が本年度（H28年度）2学期の終業式で児童に、「身近な事柄に関心をもって！」ということで、コウノトリが校区で目撃されているのでそこから話したことは以下のことです。

- ・春殖、幡屋に今や絶滅危惧種に指定されている「コウノトリ」が飛来している事
- ・昔は日本中に生息していた。しかし、様々な要因（田の環境変化による食べ物、営巣環境等）で、絶滅寸前に追い込まれ、今から50年くらい前に自然界にわずかにのこっていた個体をすべて捕獲し（「いつか日本の大空に返していくから」、という思いで捕獲したという話です）、豊岡市で人工繁殖が始まった。野生復帰を強く望んでおられる。
- ・数年前から実験的に放鳥が始まった。（個体ごとに識別番号あり、それを豊岡市に報告することで、データが集まることになっている。）
- ・そのうちの数羽がやってきている！
- ・コウノトリが住める環境は、肉食なので豊富なえさがあること、豊かな自然があること。
- ・西小のこどもたちがコウノトリは大好きらしい！！

今、私たちにできることは、コウノトリの野生復帰に協力することです。無事に赤ちゃんが誕生し、飛び立つよう願うことです。そのためには、静かに見守ること。現在、県外車なども見に来ているようですが、環境の変化はコウノトリが巣を放棄することにもつながります。子どもが話題にしていたり、何かこれについて話をしたりされる場合は、そのことを踏まえて話していただきますようお願いいたします。ちなみに、地域教材として、来年度教材化されても面白いと思います。

資料2

コウノトリの営巣について（卵がうまれた） 第2弾

H29, 4, 7 校長

3月末の報道の通り、コウノトリに卵が産まれています。今後、順調にひながかえり、空に羽ばたくまであたたかな見守りが必要となっています。皆でコウノトリの巣立ちを応援しましょう！！

★今後の動き

- うまくいけば、今後ひなが誕生していくであろう。（無精卵かもしれない・・・）
- ひなが誕生すれば、親はえさをとりに盛んに飛びまわる。ここ一月くらいに動きがでるであろう。（予想）
 - 刺激をしない。（コウノトリが驚くような行動はしない）

★営巣してくれたコウノトリの紹介

- おす・・・名前は「げんき」くん。（表記は不明）
 - 越前市で人工飼育され、放鳥された鳥。
 - （昨年2月 NHK「ダウインがきた」でこのとりが放送され、その中に「げんき」くんが写っている。）
- めす・・・名前はない。識別番号「47」
 - 豊岡市で人工飼育されたツガイが同市で野外繁殖し、誕生した鳥。

※ 西小校区がお気に入り。時々校庭上空をとんでいました！

この春の繁殖行動で、カップル誕生！

★その他

- 野外繁殖は 豊岡、越前、徳島 と 今回の島根 の4か所のみ
- 豊岡は町全体で見守りをしている。越前は、野外繁殖と言っても、人工的に設置したゲージの上で。コウノトリが飛んできて、自ら場所を選び、野外繁殖をしたのは徳島と島根（現在進行中）のみ。
- 加茂に2羽います。これは、げんきくんと「47」ではない。一列で一緒に歩いているが（和田 目撃）営巣はしていない。

◎全校児童へのコウノトリの説明と愛鳥教育

◎4年生 総合的な学習での コウノトリの教材化

資料 3

愛鳥教育 (サヒメル星野さんの話) 5月2日昼休み



資料4

このとり 19日午前10時ごろ メスが死亡

H29、5、22 和田

本日子どもたちに、元気君とひな4羽の視点で話してやってください。

主旨

○47号(仮称 七ちゃん)が巣に帰ってこないという困難・逆境の状況のなかで、お父さんの元気君が、この数日、一羽で必死に子育てをしていたこと。

○ひなたちは、親が巣にいない状態(まだ、この時期には厳しい状況)で、お留守番?をして、天敵らしきものがくると頭を引っ込め、お父さんがくると首をあげてえさをねだるなど、懸命に生きようとしていたこと。

↓

残された げんきくとひなたちを これからも応援!!

話していただく要点

1 西小近くに営巣している(た)このとり一家について

- ・3月西小の近くで2羽が営巣し、4月4羽のひなが誕生
- ・お父さんはげんきくん、お母さんは47号(仮称 七ちゃん)
- ・げんきくと七ちゃんが交代でえさととり。巣にいる親は、自分の羽をひろげて日陰を作り熱中症?にならないようにしたり、天敵からひなをまもったり。
- ・餌取りに行く前には、両親は羽をひろげて「かっかっか」と大きな声をだしあいさつをしあうことも。
- ・ひなは一日1キロ食べる。
- ・このとりは国の特別天然記念物、50年前自然界の残留個体数羽捕獲し人工繁殖・・・
- ※げんきくんは福井県のHPで「げんきくん」お便りページあり、位置情報がおおまかにつかめる。有名(人?)

2 残念なできごと

19日(金)10時ごろ 七ちゃんが巣から離れた場所でえさをとっている最中になくなった。
(ニュース報道内容の事実はでもやむを得ない)

3 残された一家のようす(主旨2点と関連)は・・・

19日(金)

- ・朝、お母さんの七ちゃんが巣から飛び立つ。
- ・通常なら1時間半~2時間でもどり、交代。
- ・ずっともどらないので、元気君は「混乱」(サヒメル 星野さん)しているようす。探しに何度も巣を離れる。ひなへの給餌行動はなかった。

20日(土)~

- ・朝から巣を離れ、日没まで1時間半に一度の割合いで、えさをとってきて給餌をする。(水ものませている?)
- ・えさをやると、すぐに飛び立ち、またえさをとりにいく。それを日没まで繰り返している。これまで交代でしていたことを一羽でしていた。

4 ちょっと心配だったこと

一羽だけの4羽のひなの子育て・・・

- ①一羽だけではえさがたくさんとれない。ひな一羽一日1キロ食べる
- ②(交代できないので)元気君の体力も心配
- ③昼間巣にひなだけになる。

日陰ができないのでひなが弱る(脱水・熱中症)
天敵

5 それでも、げんきくと雛たちは必死で生きようとしている。

6 21日(日)ひなを保護

- ・ひなはこのとり郷センターへ。(2羽は(成長状況良好!))
- ・21日午後、ひな捕獲後、巣にかえったげんきくんは、首を巣の中の方向にむけてひなを探そうなしぐさ、ときどき巣を離れるが、じっと巣にとどまっていた。

西小のまわりや西小の子どもが大好きでやってきてくれたこのとり一家
これからの旅立ちを見守り応援しよう。

※誤射については様々な問題・課題が含まれているので、取り立てて話しません。

誹謗中傷、うわさ話に注意
しかし「しかたない」でもすまないこと
今後検証が必要な重大な事故

資料5

西小周辺へ営巣した特別天然記念物 コウノトリ

29.6.5 校長

「げんきくんとひなたち」 応援プロジェクトの立ち上げ

背景

こどもたちのすぐ近くで子育て中だった国の特別天然記念物「コウノトリ」一家（げんきくん・七ちゃん・ひな4羽）。特に春殖では「上ゲ1番地の住民」という思いで間近で見守りをしておられただけ衝撃が大きい。もちろん、幡屋でも同様である。こどもたちはその渦の中にいる。学校というものは地域でおきた出来事と連動している。無関心ではいられない。家族と共に見守りをしていたり、心配で見に行ったり、今後のことを心配していたり・・・そういう子どももたくさんいる。また、地域の思いと子どもは無関係ではない。子どももうけた動揺を和らげ、コウノトリを通して様々な子どもの心情をそだて、子どもを豊かに育てていく。

「地元での放鳥」「命名」の点も考えると、子どもの心情を育てておく必要もある。

いずれにしても、未来志向で、げんきくんとひなたちに心を寄せ、応援していくことが今は大切。

○地域の願い・住民感情・動き

※この中に学校は存在している。地域の思いを知る。閉じた学校×

○こどもも今回の出来事で衝撃・影響をうけている。

⇒安心させていくことと共に、応援する心情を育む。

⇒絶滅危惧種こうのとり を通して、生き物への愛着、生命の神秘や自然のすばらしさ、生態系、人と生き物とのかかわり、・共存、人々の営み、環境づくり、まちづくり・・・様々な視点で課題化できる。未来志向でこどもたちが自分なりに考えていくことが重要。（そろそろ「かわいそう」的な感情からの脱却へ。）

⇒身の回りでおきている事象に無関心ではなく、そこからさまざまなことを考えていく、視野を広げていく子どもをそだてたい。

資料6

4年生 総合の授業



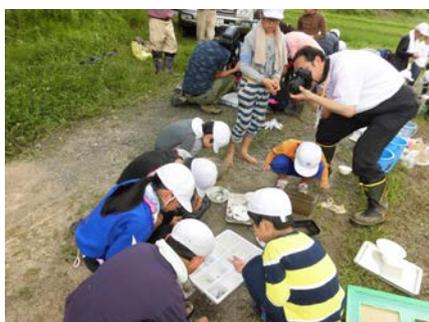
職員によるパネル作り



7月11日 パネルを使って学習



7月7日 生き物調査



6年生 総合の授業

11月20日 自分たちができる事を



11月21日 自分たちができる事を



29年11月26日

一人一校 巣作り応援

追跡

雲南・西小学校 コウノトリ繁殖へ 考え行動

国内の野生のコウノトリは1971年に絶滅。鳥から近い西小の児童は1971年に絶滅。鳥は冬校時や、教室からコウノトリを自撃して県で2005年に野放鳥が始まってから、島根県内で巣作りを確認したのは、今春が初めてだった。6年生28人は11月22日の授業でコウノトリのために、自分たち何ができるかを発表する児童。雲南市の市立西小学校で。

鳥の特別天然記念物・コウノトリのひな4羽が今春生まれ、雲南市で、市立西小学校（同市大東町仁和寺）の児童が来春の繁殖を応援するため、「一人一校運動」に乗り出す。コウノトリのペアが巣作りしやすいように、巣の材料になる枝を一本ずつ児童が拾って校庭に集める。児童たちは今年連続でコウノトリが巣作りや産卵をし、ひなが誕生するのを夢見ている。【山田英之】

さるかを考えた。餌になる生き物が生息できるように田んぼに一年中、水を張る▽農薬の使用を少なからざる▽鳥インフルが流行していない▽か闘へーなどのアイディアを班ごとに発表した。

この授業で児童から「二人一校運動」のきっかけになる「木の枝を集めておく」「長い枝を集める」という提言も出た。

西小では、巣作りを確認後、野鳥やコウノトリについて全校児童で学習会を開く。コウノトリの情報を伝える新聞記事や写真を貼る掲示板「一見守りポイント」を校内に設けた。コウノトリを「一人一校運動」の学習会を開く。コウノトリの情報を伝える新聞記事や写真を貼る掲示板「一見守りポイント」を校内に設けた。コウノトリを「一人一校運動」の学習会を開く。

和那那子校長は「集めた枝が結果的に、巣の材料に使われなくてもいい。コウノトリのひなを自分たちで育てていくことを考えてほしい」と期待している。

郷公園に保護された。中。島康介さんには「すみやすい環境をつくって、今度はひなが巣立つのを見たい」と願っている。雲南生まれの4羽のうち、雄1羽は8月、鳥取市内で死んでいるのが見つかった。ゴムを誤って食べたことによる衰弱死で授業に出席できなかった。親鳥が電柱の上に木の枝を積み上げていく様子を見ながら、生で観察した。

コウノトリのペアが今年、電柱の上に作った巣。木の枝などを組み合わせている。雲南市で。

29年11月26日
毎日新聞

資料8

6年生の見守りボード

全校児童に紹介 7月12日



見守りボード



シールを貼る6年生 7月20日



校区全戸へのチラシ配布 12月22日

西小学校校区の地域の皆さんへ(お願い)

今年の11月に西小学校に巣塔がたちました。
 私たちは、西小学校の巣塔でコウノトリが育ち、この地域でたくさん
 コウノトリが住んでくれるといいなと思います。そのために、私たちは
 コウノトリについてたくさん勉強しました。
 子供たちだけでは、解決できないことが多くありました。
 そこで、地域の大人の皆さんに協力していただきたいお願いがあります。

H29
雲南社 西小学校
6年生



☆ 田んぼに水をためる

1つ目はコウノトリが食べるえさをふやすために、冬の間田んぼに水をためてください。



☆ 巣の材料をおく

2つ目は、コウノトリの巣となる木の枝を、コウノトリが自分でとれそうな所においておいて下さい。長さが1~1.5mぐらいで太さが親指ぐらいがちょうどいいです。



☆ 農薬を減らす

3つ目は、田んぼでお米を作るときに農薬を減らしてください。農薬を減らせば、田んぼの生き物も増え、安全、安心なおいしいお米が作れます。



☆ 草かきをする

4つ目は、湿地やお休みしている田んぼの草かきをしてください。草は適度に残してください。

草が生えすぎると、コウノトリもえさを見つけにくいし、魚も泳ぎにくいです。



☆ 水を汚さない

5つ目は、水をよごさない生活を心がけてください。水がよごれると、コウノトリのエサとなる生き物が住みにくくなりエサが減ってしまいます。



☆ 静かな見守り

6つ目はコウノトリを静かに見守ってください。寝ているところをじっと見たりカメラのフラッシュをかわらないでください。コウノトリがびっくりしてしまいます。

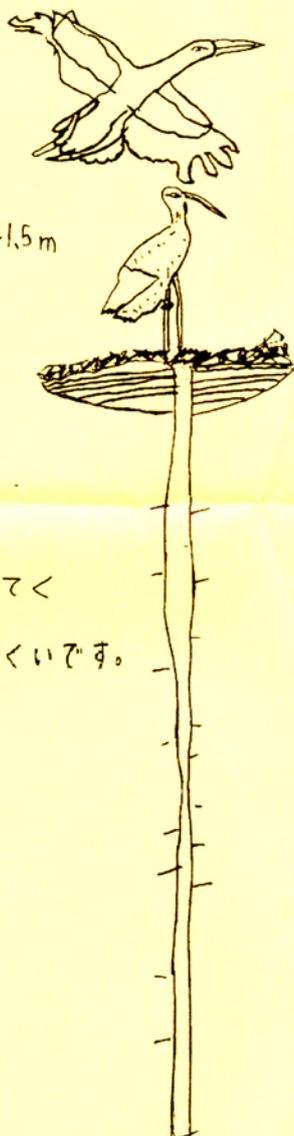


☆ ゴミのない地域に

7つ目は、ゴミを捨てないでください。見つけたら捨ててください。げんちゃん(カウノトリ)は人間が捨てたゴミを飲みこんでなくなっていました。

◎コウノトリも人も住みよい地域にしましょう。

ご協力 よろしくお願いします。



ポスター一掲示 12月下旬

人もコウノトリも
幸せな町に♡

・青争かに見守って! 

・夜はカメラでコウノトリをとったり近づかないでください。コウノトリにとってストレスです。

・田んぼに水を残して!

・冬は、エサが減ってしまいコウノトリが困るので田んぼに水をためたまわってください。

・環境の美化活動に協力を!

・ゴミのポイ捨てをせずに逆にひろいましょう。

コウノトリが好きな町を作りましょう。

H29.12月西小学校6年生

人もコウノトリも
幸せな町に♡

♡青争かに見守ろう 

夜はカメラでコウノトリをとったり近づいたりしないでください。コウノトリにとってストレスです。

♡田んぼに水を残して

冬ばは、エサが減ってしまいコウノトリが困るので水を残してください。お願いします。

♡環境を大セカにしよう

ゴミのポイ捨てをしないで捨ててください。

ご協力お願いします

H29.12月西小学校6年生

各種施設掲示用

ゴミのない西小にしよう
ゴミはすてないでね
ゴミを見つけたらひろってね

「ゴミがあるとえさとまちがえて食べてしまうかもしれないな...」

「きれいな所だと暮らしやすいな!」

「ごみをひろおう」

×

ゴミぶくろ

H29.12月西小学校6年生

コウノトリを
青争かに
見守ってください!

カメラのフラッシュをしないで!

夜は静かに!

進よらないで、ゆっくりねむらせてあげよう

コウノトリがビックリしてしまいます。
コウノトリのストレスをなくしてあげましょう。

H29.12月西小学校6年生

校内掲示用

資料14

コウノトリ 掲示板の設置 5月より



中高学年昇降口前



低学年昇降口



担当者からの情報提供



掲示板を見る児童



折り紙でコウノトリを折る



名前に折ったコウノトリをはりつける



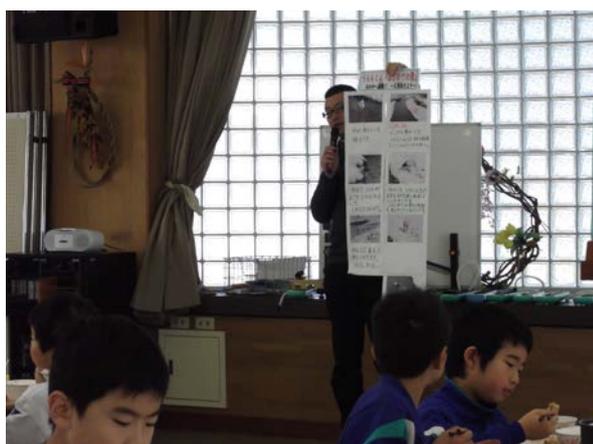
コウノトリクイズを見る



足環カタログを見てクイズを考える



給食時に正解者を表彰



コウノトリの情報を伝える

学校に寄せられたコウノトリの位置情報やひなたたちの現状、知らせてくださった方の思いなどを給食時に紹介しています

放鳥式 7月12日



命名したひなたたちが元気に飛び立ちました



思いのこもった6年生のあいさつでした



巣塔セレモニー 11月28日

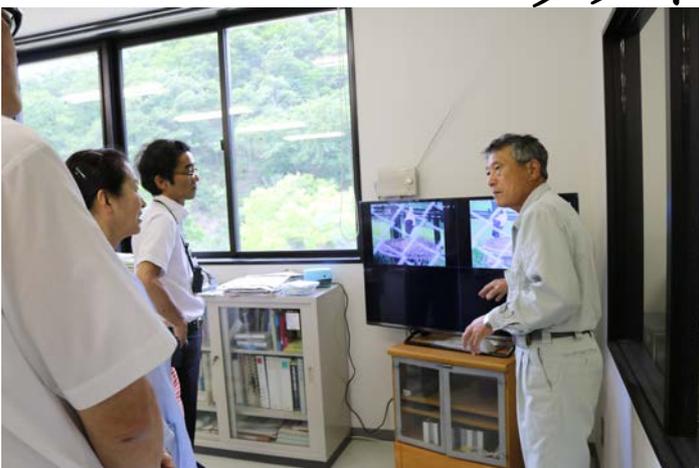
豊岡へ教員派遣 6月16・17日



豊岡市役所コウノトリ共生課



コウノトリの郷公園



三江小学校校長室

コウノトリの郷公園 の職員さんへの質問

(2)年 <にこにこ>

コウノトリのひなは、なぜ時間と大きくなるのか？
 早く大きくなるのは、(人間に比べて) ほかの鳥に比べてられるからか？
 コウノトリのひなは、(お母) 口ば(を)じょうにつかっています
 だんだんなれるからです
 コウノトリのひなは、どうやって大きくなるのか？
 よくたべると力がつづい
 すからとびたります
 おとなになると
 かんこくの方まで
 いくものも
 います。
 4わは、れんしゅうじょうで
 れんしゅうしてからです

(3)年

なぜ、見分けするために足に番号を貼らなければならないのか
 あるんですか？ 数が少ないのどこにいるかわ
 かるようにしてあります
 オスとメスは、どうやって見分けられるんですか？
 DNAを調べないと分かりません。見た目では見分けか
 一産に何匹と産んでおきますか？ つぎません
 はっきり分らないけれど、1産に数キロと産んでおきます
 なぜ「コウノトリ」という名前がついたのですか？
 「コウノトリ」でコウノトリです、コウは中国語でコウツリと
 いう言い方があります
 なぜ、目のまわりが赤いのですか？
 目のまわりは、毛がなく、赤いひなが見えている
 からです

資料18

平成29年12月20日

春殖・幡屋地区各自治会長 様

雲南市立西小学校

校長 和田 邦子

コウノトリについて西小学校からのお願い

師走の候、皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素より西小学校の教育活動にご理解・ご協力をいただいておりますこと、心よりお礼申しあげます。

さて、本校では、今春にコウノトリが校区内に営巣したことを機に、コウノトリも住むことができる自然環境やコウノトリを核とした地域づくりについての学習を全校で行っております。

この度、コウノトリが営巣するための巣塔が11月28日に本校校庭に設置され、この巣塔を利用して、本校においてコウノトリが営巣し子育てをすることが可能となるように、全校で応援をしていきたいと考えております。

つきましては、本校の取組についてご理解をいただくとともに、下記のとおりコウノトリが巣を作り子育てが可能となるように、できる範囲でご協力をいただきますようお願い申しあげます。

また、本校児童がコウノトリとの共生に向けて、地域の皆様にご協力をお願いするチラシを別添のとおり作成いたしました。お手数をおかけいたしますが、各戸へ配布していただき、児童の思いをくみ取っていただきますようお願い申しあげます。

記

【学校として、ご協力いただきたいこと】

1 営巣のための巣材について

- ・コウノトリが巣づくりをするための材料となる木の枝を、剪定等の折にコウノトリが運びやすいように周囲に積んでいただきますようお願いいたします（長さは1メートルくらい、直径1～3センチ程度の枝）。

2 えさの確保について

- ・コウノトリのえさ確保のために、収穫後の田や休耕田等に水を入れておいていただき、生き物が住むことができる水場づくりにご協力いただきますようお願いいたします（特に休耕田は、草を刈ったり耕したりしていただく生き物が住みやすくなります）。

3 ゴミ拾いについて

- ・地域にゴミが落ちていると、コウノトリが誤食する可能性がありますので、ゴミ等を見つけれましたら拾っていただきますようお願いいたします。



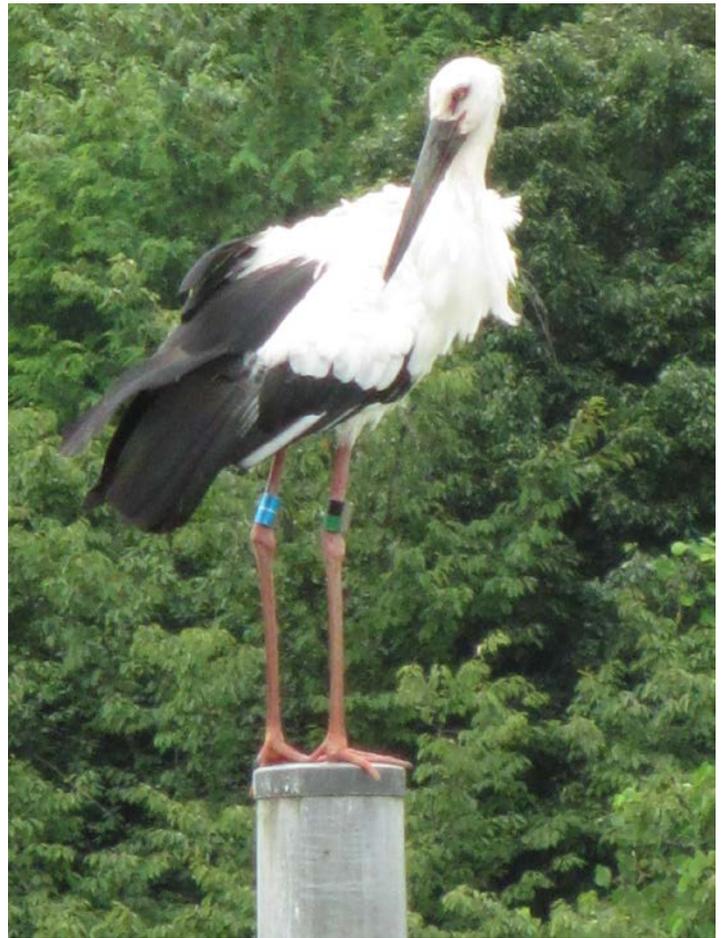
【本校校庭に設置された巣塔】



【巣塔での営巣イメージ】

資料19

29年9月1日 元気くんが来たよ！



昼休み13:30くらいから、14:45の1時間以上、西小学校近くの電柱に止まっていた。

8月15日にもその電柱で目撃されています。また、野球の練習に来た子どもたちも見たことがあるようです。

今回は、昼休みに遊んでいたこどもたちが見つめました。それ以外の子どももたくさん見ました。

**足環がよく見えますね
また来てくれるかな！**





親子

げんきくん

ポンスニちゃん(51号)メス

ひめちゃん

資料21

「コウノトリ」を教材とする 生活科・総合的な学習 単元一覧
 「げんきくんとひなたち応援プロジェクト」～コウノトリも住めるまちづくり、人もコウノトリも幸せな地域へ

学年	単元	関連教科	全校活動	備考		
1 (10H)	○コウノトリと仲良し Part1 ビオトープで生き物探し(コウノトリになってビオトープへ参入！)、いわくまの森遊び(コウノトリになってねぐらに入って遊ぼう)、コウノトリ凧(バイオカイト)遊び、コウノトリの昔話・・・ (ねらい) ・コウノトリへの愛着・心情、生命を慈しむ心を育む					
2 (10H)	○コウノトリと仲良し Part2 川やビオトープでの生き物調査(コウノトリになってエサさがし！)、巣材発見・巣作りに挑戦(コウノトリの巣作りのお手伝い！、コウノトリになって枝や葉っぱを集めて・・・) (ねらい) ・こうのとりにへの愛着・心情、生命を慈しむ心を育む			県教研候補		
3 (30H)	○コウノトリっていったいどんな鳥？ えさ、ねぐら、生態、絶滅した理由・・・自分たちの疑問を調べる。(関係者への取材、本・・・) ○西小周辺のたくさんの生き物(命)と出会おう (ねらい) ・コウノトリについて自分達の疑問を調べ、コウノトリへの理解を深める。 ・里山では多様な生き物が共存(生物多様性)していることに気づき、自分達もその中で生きていることへの理解を深める。	理科	情報発信活動 見守りボード 一人一木運動 巣塔観察	専門家からコウノトリ(鳥)の話聞き ・遠足(隔年サヒメル)行かない年は4年単独サヒメルでの学習 ・3年生から副読本資料配布		
4 (30H)	○どうしてコウノトリは西小周辺(春殖・幡屋)にきたの？ 自分の「説」をたてよう 生きもの調査と分析・経年比較、環境調査、他の地域へ飛来したコウノトリとのえさ比較、自分の説の根拠探し・・・ 地域発信 (ねらい) ・ここを選んでやって来た(営巣した)理由を根拠をもとに考え、西小周辺の自然環境への理解と愛着を深める(関係者への取材、本や資料・・・) ・根拠(データ、観察等)をもとに自分の仮説をたてることができる。	理科				
5 (30H)	○人にもコウノトリにも安全・安心な田んぼづくりに挑戦！ 西小コウノトリブランド米、シンボルマークづくり・・・ (ねらい) ・自分たちもコウノトリも安心して食べられる田んぼを作ること、自然の豊かさ・厳しさを体感し、コウノトリと共存できる道について考えを深めることができる。	社会				
6 (20H)	○コウノトリの絶滅の理由・野生復帰の歴史・人々の努力や思いからコウノトリについて考えよう ○コウノトリと共に生きる・コウノトリが飛来できる地域・町づくり～西小6年生の提言～ ○見守りボードの集約・巣塔観察等 (ねらい) ・歴史的な背景、人々の思いを知り、現代の環境も踏まえながら、課題を明確にして環境問題について考えることができる。 ・これまで調べたことや課題から、コウノトリと共生できるふるさとづくりについて地域と共に考えていくことができる。	社会				
						H30 親子活動(サヒメル)？

- ①交流活動 三江小、福井県内の小学校への発信(実践交流・情報交流)
- ②啓発活動 コウノトリフォーラムin雲南
- ③環境学習の場 ビオトープ いわくまの森 水田 等

各関係団体
各関係者



西小特別教育アドバイザー
「げんきくん」